

地域の中できくく伸びよう北新庄っ子

越前市 北新庄小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ)6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	50人
授業ボランティア(含:低ボラ)	93人
登下校支援ボランティア	2,360人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

本校では、各学年がそれぞれの学習に関連させながら郷土の自然や文化、そして人々のよさにふれる学習を進めてきた。主な学習内容や体験活動は次の通りである。

3年生では「大豆作り」、4年生では「蕎麦打ち」、5年生では「稲作」、6年生では「鉱物学者市川新松氏に学ぶ」である。これらの学習を進めるにあたって、第一回地域・学校協議会において本校の教育方針を理解していただき、地域の人材や関係施設等についての情報提供をお願いした。

特に、5年生の「稲作」では、協議委員さんが水田の借用についてお力添えをくださったり地域の老人会との連絡調整を引き受けてくださったりした。老人会の皆様には米作りについてのお話をさせていただいたり一緒に田植えや稲刈りをしていただいたりして、充実した体験学習ができた。そして、地域の老人会の方との交流も深まった。



また、6年生の「市川新松氏に学ぶ」では、世界的な偉業を成し遂げた地域の先人の生き方や考え方に触れることができた。この学習においても、協議会の中で「市川新松顕彰会」との連絡調整やゲストティーチャーについての配慮をしていただいた。特に今年度は、市主催の「市川新松展」の見学会もあり、そこへの参加についても様々な支援をしていただいた。二学期には、地域にある市川氏の生家や資料館を見学することができ、児童は市川新松氏の生き方や考え方について学ぶことができた。

第三回地域・学校協議会では、一年間の教育活動についての振り返りをもとに、次年度に向けた取り組みについて協議した。

成果と課題

成果としては、地域・学校協議会の協力を得て、学校が計画した教育活動がスムーズに展開でき、児童に有意義な体験をさせることができた。そして、そのことにより、児童はふるさとの農業に目を向けたり、将来の自分の生き方について考えたりする機会を持つことができた。今後も、地域・学校協議会との連携を図りながら、児童にふるさとへの愛着心が育つよう取り組んでいきたい。